

モンゴルツアー感想記

真瀬宏司

1. 日本との気候の差が大きく、7月～9月がベストという実感。ベストシーズンが8月ということの意味が理解できた。
2. 料理は期待していなかったが、モンゴル、ウクライナ、和食、ともに凄く美味。
3. 通常のツアーと大きく差があるが、商工会議所、日本大使館、国会議員との会談は、極めて価値ある経験。特に清水大使は外務省の大ヒット。モンゴル語、三回目、5年就任、このケースをもっと増やすべし。
4. 日本人墓地参拝。生涯の夢の実現。そして、この墓地への日本人訪問のPRと、墓地の整備が必要。
5. ゲルの初体験。トイレとベッドも含めて、極めて整備されている。
6. 乗馬体験。1時間セルフでできたのは最高だが、駆け抜けることができず。再挑戦か？

モンゴル研究会課題

- 1 母子センターの発展の年度別計画立案と支援 より事業化して行く。 隣の企業との協業、オリックスを含めた企業とのコラボの研究と実現化。
- 2 EPA 5,000品目、9,000品物の内容確認と実現化計画
- 3 日本人墓地の整備の具体的計画立案と執行
- 4 日本企業、民間人の訪モンゴルのPRと実行
- 5 モンゴル幹部の訪日の更なる活性化

以上